

# 東御市避難所・災害ハザードマップについて

近年、全国各地では記録的な大雨・長雨による河川の氾濫や土砂災害などが毎年発生し、多くの被害が報告されています。また、長野県内には多くの活断層があり、今後の予想では近いうちに大きな地震が発生するとの予測もされています。

東御市でも災害がいつ起きてもおかしくない状況にあります。この災害ハザードマップは、大雨により市内を流れる河川が氾濫した場合や土砂崩落に伴う土砂災害が発生した場合において、市民の皆さんの「安全確保のための避難」や「危険回避」など自主的な行動を支援することを目的に作成されたものです。

これまで市民カレンダーのとじ込みへ掲載し周知してきましたが、国や県が発表した更新情報や災害前の事前確認情報を掲載し、新たに冊子として発行いたしました。

本ハザードマップを通して改めてお住いの地域の危険状況を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害対応が行えるよう、日頃からあらゆる備えを進めましょう。

# 洪水

## 浸水想定区域について

平成27年の水防法改正に伴い、東御市を流れる千曲川及び一級河川を対象にこれまで100年に一度の確率で起きる豪雨による浸水の深さを、1000年に一度の確率で起きる豪雨による浸水の深さに見直されました。千曲川は令和2年度に、一級河川は令和3年度に見直しされ、本ハザードマップに反映しております。

## 想定雨量について（想定最大規模の雨量）

河川名	河川管理	想定する雨量
千曲川	県	千曲川流域(千曲川上流)に48時間で396mmの降雨を想定
金原川	県	金原川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
笠石川	県	笠石川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
成沢川	県	成沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
三分川	県	三分川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
求女川・祢津東川	県	求女川、祢津東川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
針ノ木川	県	針ノ木川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
所沢川	県	所沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
小相沢川	県	小相沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
西沢川	県	西沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
大石沢川	県	大石沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
平沢川	県	平沢川流域全体に24時間で813mmの降雨を想定
鹿曲川・番屋川・芦田川	県	鹿曲川、番屋川、赤沢川、芦田川、八丁地川、細小路川流域に24時間で710mmの降雨を想定

※1000年に1回程度の降雨（1年間にその規模を越える洪水が発生する確率が1/1000程度）



## 洪水による浸水の深さ



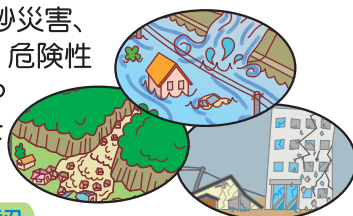
## 目次

- 東御市避難所・災害ハザードマップについて.....1
- 災害に備えて.....1
- 洪水・土砂災害.....1
- 洪水.....1
- 土砂災害.....2
- 市からの避難情報.....2
- 地震.....3
- 大規模地震に備える.....3
- 最大震度予測図.....3
- 液状化予測図.....4
- 情報の入手方法・入手先.....4
- 防災の知識.....5
- 避難時の心得.....5
- 要配慮者への協力.....5
- 応急手当.....5
- 自分たちの地域は自分で守る.....5
- マイタイムライン.....5
- 避難施設一覧.....6
- 地区別避難所.....6
- 避難所・災害ハザードマップ.....6
- わが家の防災メモ.....6
- 非常時持出品・災害用備蓄品.....6

## 災害に備えて

### 地域の危険個所の確認

本ハザードマップには、洪水、土砂災害、地震による液状化の3種類について、危険性のある場所を掲載しています。自宅や学校、各施設の周辺にある危険箇所を確認しておきましょう。



### 避難場所と安全な避難経路の確認

災害が発生した場合、あらかじめ自分が避難する場所を確認しておくとともに、避難経路は複数決めておき、家族で下見し確認しておきましょう。⇒避難施設・地区別避難場所/P6



### 正確な情報の確認

災害が起きそうな状況下では最新の気象情報や災害情報の確認に努め、危険な状況になる前に早めの行動を心がけましょう。⇒洪水/P1

### 災害メール



土砂災害・市からの避難情報/P2  
情報の入手方法・入手先/P4

### 非常持出品・備蓄品の確認

避難時、多少の食料品や必要な身の周り品は持参が原則です。また、ライフライン停滞による備蓄品の確保の準備もしておきましょう。⇒非常時持出品・災害用備蓄品



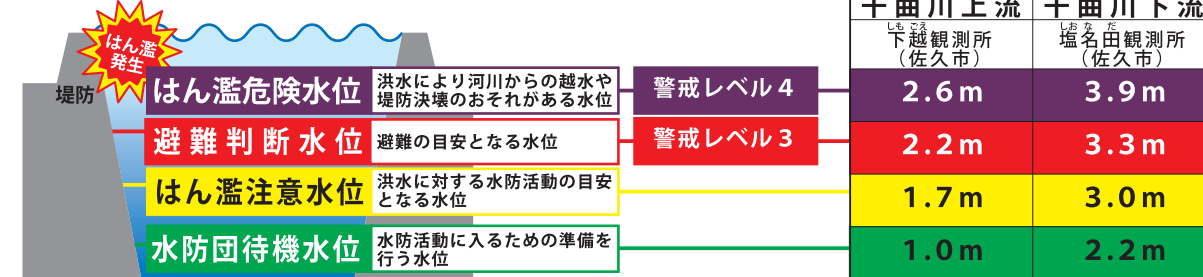
### 災害時の行動の確認

災害発生時に必ずしも家族が一緒とは限りません。予め集合場所や連絡方法を確認しておきましょう。⇒マイタイムライン/P5  
我が家の防災メモ



## 千曲川のはん濫水位

大雨により河川の水位が上昇し、氾濫の危険性が高くなると河川管理者などから防災に関する情報は発表されます。状況に応じて避難準備を進めましょう。



## 洪水になった時の歩き方



- 歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰までであるようなら無理は禁物です。高所で救助を待ちましょう。
- 水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒を杖代わりにして、安全を確認しながら歩きます。
- 裸足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴がよいでしょう。（意外と知られていないので注意してください。）
- はぐれないように、お互いの身体をロープで結んで避難しましょう。とくに子どもから目を離さないようにしましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人などは背負いましょう。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難します。